

わたしは、いえでおかあさんとのんびりすごすことが大すきです。学校も大すきです。べんきようもすきだし、きゆうしよくもすきです。でも学校で「ばんいいと思うところ」はともだちがいることです。ともだちっていいなと思うことがたくさんあります。

わたしがはしるのがおそいとき、「がんばれえ。」

とおうえんしてくれました。もうはしるのがいやだなと思っていた気もちが、「よし、がんばろう。」にかわりました。

さん数のひっさんができなくてこまっていたら、ちかくのせきのまなとさんが、

「この答えは13だよ。」
と教えてくれました。もやもやしていたあたまの中がすっきりして、つぎのもんだいはじぶんでとくことができました。

いいことをいっぱい思い出して心がほかほかしてきます。

そして、ぽかぽかの気もちはしてもらったときだけじゃなく、わたしがともだちにいいことをしたときもぽかほかしたことがあります。

そうじのとき、うみさんがバケツをはこんでいておもそうだったので、

「てつだおうか。」

と言いました。そうしたらうみさんが、うれしそうに、「ありがとう。」

と言ってくれました。わたしもなんだかうれしくなりました。いっしょにもったバケツもすぐくなくなるってらくちんでした。うみさんをよろこばせようと思ってしたことが、じぶんもうれしい気もちになるのはなんだかたくしたかんじです。

ともだちいるとたのしくて、ともだちにやさしくされるとうれ

しくて、ともだちにやさしくしてもうれしくて、ぜんぶともだちが
かんけいしているなと思いました。

だからうれしい気もちがいつぱいになるためにわたしはともだち
をたくさんつくるさくせんを考えました。

こまっているともだちを見たら、

「なにか、こまっているの。」

とすぐに話しかけてあげます。

休みじかんに、ともだちがひとりするとき、

「いっしょにあそぼう。」

と言います。

ぜんぶじぶんがされてうれしいことです。ぽかぽかな気もちをた
くさんつくっていききたいです。